東大和市の"今"を伝えたい・・・

市議会議員

2022年2月27日

和地ひとみレポート<u>№425</u>

令和4年 第1回東大和市議会定例会

コロナ禍になって増えた補正予算。今年度も10回に。

■多くの議案が上程され

…2月 22 日から令和4年第1回東大和市議会定例会が開かれています。初日の本会議では、議決案件30件(専決処分の承認1件、条例の全部改正1件、条例の一部改正14件、条例の廃止1件、令和3年度補正予算5件、令和4年度当初予算6件、市道路線の変更1件、規約変更1件)と報告案件2件、同意案件1件が上程されました。

【専決処分の承認】

…専決処分の承認については、このレポートNo.419:令和4年1月16日号で取り上げた令和3年度一般会計補正予算第9号。これは、国が決定した子育て世帯特別給付金(児童を養育している者の年収が960万円未満の世帯の0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たりに10万円を給付する)を含んだもの。東大和市では給付を早期に実施するために市議会の議決を得ずに市長が専決処分をしました。よって、今回の定例会に市長の専決処分について承認するかどうかはかられ、結果、全会一致で承認されました。

【同意案件】

…また、同意案件 1 件については、真如昌美(しんにょ まさはる)教育長の任期が今年度末で満了になることを受けてのもの。

市長からは真如教育長を再度任命することが示され、市議会は全会一致で同意しました。

【報告案件】

…そのほか、報告案件2件については、定期的に報告される「東大和市土地開発公社の経営状況について」の報告と、庁用自動車の物損事故についての報告でした。この事故の概要は、消防団員が訓練を終え、バックでポンプ車を詰所に駐車しようとした際に、すでに駐車していた他の消防団員所有の自家用車に接触したというもの。損害賠償額約13万円を公益社団法人全国市有物件災害共済会から支払ったとのことでした。

…さらに、毎年、市議会第1回定例会では、来年度予 算案が議決案件として上程されますが、来年度予算案 については、別途、設けられる予算特別委員会で詳細 を審議したのち、定例会最終日の本会議で議決するこ ととなっています。また、議決案件の中の全部改正 1 件は「東大和市職員の服務宣誓に関する条例の全部改 正」で、東大和市議会では新設条例ならびに全部改正 の条例については所管する常任委員会に付託し審査を することとなっているため、総務委員会に付託。また、 値上改正となるものについても常任委員会での審査を 行うこととしているため「東大和市国民健康保険税条 例委の一部を改正する条例」(改正内容の概要はレポー トNo.421: 令和4年1月30日号に掲載) は厚生文教委 員会に付託されました。この常任委員会に付託された 条例関係の2議案についても、定例会最終日の本会議 で議決を行うこととなっています。

■一般会計補正予算第10号

…前述のとおり今定例会にも、一般会計ならびに3特別会計(国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計)と、公営企業会計予算(下水道事業会計)の補正予算案が上程され、審議の結果、すべて賛成多数で可決されました。

…一般会計補正予算は"第10号"。今年度10回目の補正ということです。新型コロナ感染症が広がり、ワクチン接種関連の予算や臨時的な交付金など、国からのイレギュラーな財政措置により、昨年度も例年の約2倍の回数10回の一般会計の補正を行いましたが、今年度も一般会計の補正は10回に。今回提出された一般会計補正予算(第10号)の概要は以下のとおりですが、特筆すべき点は、コロナ関連の多くの事業の支出が、年度末ということもあり、翌年度に繰り越して使用する「繰越明許費」となっていることです。

◆一般会計補正予算(第10号)

- ・補正予算額:歳入歳出ともに 3億8.424万円の増額
- ・歳入:国から:8億7,376万円

国の普通交付税の再算定による6億2,600万円、 国庫支出金1億9,957万円など

都から:2 億 1,968 万 1 千円

都の決算見込み通知による各種交付金の増額による1億2,085万円と都支出金9,882万円など

繰入金:▲3億3,624万4千円

予算化していた財政調整基金≒市の普通預金の 取崩し額が3億7,194万1千円減額になったこと。 一方、り災救助及び災害復旧・復興基金を新たに 3,569万7千円取崩したことによる

諸 収 入 :1,788 万 3 千円

- ①地方公共団体情報システム機構からデジタル 基盤改革支援補助金 1,556 万 5 千円
- ②東京都環境公社からアライグマ等の駆除と野火 止用水用水のナラ枯れ対策のために地域環境 活力活性化事業補助金として431万8千円
- ③東京 2020 オリ・パラの観戦事業が中止になったため市長会からの助成金が 200 万円減額

市 債:▲3 億 9.084 万円

普通交付税(※1)の再算定に伴う臨時財政対策 債(※2)の減額

※1(市の必要経費=「基準財政需要額」に対し、市税等の収入見込額=「基準財政収入額」が不足する額を基準に国から交付されるもの)

※2(国から交付する地方交付税の原資が足りないため、不足分の一部を地方自治体が借り入れする地方 債。臨時財政対策債の元利償還金相当額は、その全額 を後年度の普通交付税によって措置すること=国が補 てんすることとされている) (裏面に続く)

・補正が生じた主な理由:

- ①法改正に伴う転入転出のマイナンバーを利用したワンストップ化への対応と市の組織改正に伴う設定変更により、基幹系システムなどの修正委託料を増額
- ②障害児および育児困難家庭の増による保育サービス推進 事業補助金の加算額の増加に伴い、歳入・歳出共に増額
- ③蔵敷一丁目土砂災害の工事に関する基金の取り崩し額の 増額(り災救助及び災害復旧・復興基金)
- ④新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、国からの交付限度額が明示されたこと等に伴い歳入・歳出予算を増額。(予算の一部は繰越明許費を設定し、令和4年度に執行予定)
- ➡各施設(市民会館:ハミングホール、市民センター、学童保育所、児童館、公民館、図書館など)に設置している机や 椅子などを抗菌仕様のものに入れ替え。(約4,130万円)
- ➡手指消毒剤、パーテーション、空気清浄機、非接触型温 度センサー等の購入。
- ➡キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業(PayPayのポイント還元事業)の実施。
- →小中学校の廊下蛇口の自動水栓化工事。
- ➡避難所における非接触型簡易トイレの整備。(各避難所 1台、合計33台)

◆繰越明許費=翌年度に繰り越される主な事業

(新型コロナウイルス感染症対策事業、新型コロナワクチン接種用タクシー券配布事業、子育て世帯への臨時特別給付金事業 など)

■組織改正のため多くの条例を改正

…そのほか、初日の本会議に可決された条例関係は以下 の通りです。

【国の法改正に伴うもの】

- ①東大和市個人情報保護条例の一部を改正する条例 "デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関す る法律"の成立に伴い、条例の中における引用条文等の変 更が生じるため。
- ②東大和市国民健康保険条例の一部を改正する条例 民法の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることに 伴い、結核医療費支給対象者の年齢を改める。
- ③東大和市中小企業勤労者生活資金融資条例の一部を改 正する条例

民法の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることに伴い、条例に定められた融資のあっせんを受けることができる者の年齢要件を改正。

④東大和市小規模企業近代化資金利子補給条例の一部を 改正する条例

"産業競争力強化法"の一部改正による項ずれを改正。

【新年度からの市の組織改正等に伴うもの】

①東大和市における個人番号の利用等に関する条例の一 部を改正する条例

学童保育に係る事務が市長部局から教育委員会に移管されることに伴う所要の改正と、地域子ども・子育て支援事業(子どもショートステイ事業)などの事務についても市民の利便を図るためにマイナンバーを利用できる事務とするための改正。

②東大和市民会館条例の一部を改正する条例

市民会館(ハミングホール)に係る事務が市長部局から 教育委員会に移管されることに伴う改正。

- ③東大和市立学童保育所条例の一部を改正する条例 学童保育所に係る事務が市長部局から教育委員会に 移管されることと、第四小学校内に学童保育所第四クラ ブの育成室を設置することによる改正。
- ④東大和市立児童館条例の一部を改正する条例 児童館に係る事務が市長部局から教育委員会に移管 されることによる改正。
- ⑤東大和市生涯学習推進計画審議会条例の一部を改正 する条例

審議会の庶務が「社会教育部」から「教育部」になることに伴う改正。

【そのほかの条例の一部改正と条例廃止】

- ①東大和市公告式条例の一部を改正する条例 閲覧者が極めて少ないことにより南街市民センターの掲 示板を廃止するための改正。
- ②東大和市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正 する条例

審査の申出に対する決定書への押印規程について、 正·副本への押印規程を決定書原本への押印規程に 改正。

③東大和市非常勤職員の報酬等に関する条例の一部を 改正する条例

東大和市医師会等との協議結果により、報酬額の改正 を行うための改正。学校医、学校歯科医の月額報酬を 45,450 円から 45,650 円に改めるなどの改正。 この報酬は 26 市の中では中庸程度とのこと。

④東大和市敬老金支給条例を廃止する条例

日本人の平均寿命が男性 81.64 歳、女性 87.74 歳に延伸したことを受け、88歳を迎えた高齢者に5千円の敬老金を贈る事業を廃止するため条例も廃止。今後は100歳を迎えた方へのお祝いの1万円と市内最高齢者へのお祝いの3万円のみとなる。

⑤東大和市消防団条例の一部を改正する条例

消防団員の処遇改善のために「報酬を年額報酬」に、「出動手当を出動報酬」に、「機関手当を機関報酬」(機関≒消防車の運転に対するもの)にし、それぞれの単価を改め、出動した団員への処遇がより厚くなるように改正。また、団長から分団長までの階級に定めのある定年を60歳から65歳に延長するとともに、消防団長の任命要件のうち「市の区域内に勤務していること」を削る。

…最後の、消防団関連の条例改正は、消防団員不足の改善を図るためのもの。また、団員不足に加え、消防団には消防車のドライバーの課題も。道路交通法が平成29年3月12日に改正施行され「準中型自動車免許」が創設されたことに伴い、従来、普通自動車免許では車両総重量5トン未満まで運転できたのに対し、法改正以降に普通自動車免許を取得した人が運転できる車両は総重量3.5トン未満限定に。よって、車両総重量3.5トン以上のポンプ自動車(消防車)を運転できない団員が多くなり、将来的に消防団活動に支障が生じる恐れも出てきています。近い将来には、消防団員の取得している運転免許証に関する課題解決についても検討する必要が出てくると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。 私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。

東大和市 市議会議員 和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所

HP: http://www.wachi1103.jp ip 【電話・FAX】 042-516-8546